

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

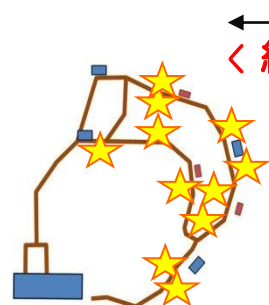
# サロベツ花だより

No.2

今のおすすめは ホロムイチゴ です



果実(7月頃)



◀ 約 2 cm ▶

一周約 1km  
所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの  
さえずりをききながら  
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

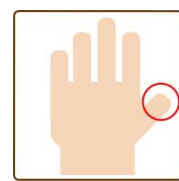
★★☆☆☆ バラ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低(約 10~30cm程度)



親指の先くらい

【漢字: 幌向苺】

別名「ヤチイチゴ」とも言われ、谷地(湿地の意味)に生えるイチゴです。氷河期の生き残りと言われ、日本では北海道の岩見沢市郊外の幌向地区で発見されたことが名前の由来です。英名はクラウドベリーで、雲(クラウド)状の果実が7月頃なります。

カラマツソウ キンポウゲ科 咲いています



花びらが無く、たくさんの雄しべと雌しべがあり、それが唐松の葉の形に似ていることから名づけられました。まるで線香花火がチリチリと儚く燃えているようにも見えます。

コツマトリソウ サクラソウ科 咲いています



ツマトリソウの変種で湿原型です。ツマトリソウより全体的に小型で、葉の先が丸みを帯びています。広大な湿原で、まるで星々が散りばめられているかのように咲いています。

ホロムイソウ ホロムイソウ科 咲いています



とても地味ですが、高層湿原に咲くととても貴重な花です。こちらの花も北海道の幌向地区で発見されたことから名づけられました。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ  
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950 FAX 0162-73-0360

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!